




AEON

 **FUJI** 株式会社フジ

第58期 中間報告書

58TH BUSINESS REPORT

2024年3月1日 ▶ 2024年8月31日

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループ第58期(2024年3月1日~2024年8月31日)の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当中間連結会計期間(2024年3月1日~2024年8月31日)におけるわが国の経済は、雇用や所得環境が改善する中、景気は緩やかな回復を見せる一方で、継続する物価上昇や円相場の急変、金利上昇リスクなど、先行き不透明な状況が続いています。

2024年3月1日、当社を存続会社とし、株式会社フジ・リテイリング及びマックスバリュ西日本株式会社を消滅会社とする吸収合併を実施しました。「新生フジ」は中国・四国・

兵庫エリアを事業基盤として2030年度における営業収益目標を1兆円とする2024~2026年度の中期経営計画を新たに策定し、3つの基本戦略「企業文化の確立」「既存事業の改革」「事業インフラの統合とシナジー創出」と「ESG経営の推進」に全社を挙げて取り組んでいます。

当期間の主な取り組みでは、店舗運営においては、多様化するお客さまニーズへの対応、店舗の利便性向上に向けたスクラップアンドビルドや既存店の活性化を実施しています。上半期には14店舗の活性化を行い、下半期も4店舗のスクラップアンドビルド及び15店舗の活性化を計画しています。また、二極化する消費動向に対応し、「全力プライス」「毎日が安い」「55プラスポイント」を柱とした「3つのお得」で価格訴求を強化するとともに、「地元、健康、美容、贅

沢、環境」などのテーマに基づく付加価値の提供による、価値訴求にも力を入れております。これらの取り組みにより、食料品を中心に売り上げは堅調に推移し、営業収益は過去最高となりました。一方で、電気料金については内容の見直しや使用量削減の努力により計画を下回ったものの、人材への投資としての大幅な賃上げや既存店の刷新への積極的な投資、本社移転・統合販促などの合併費用の計上により、販売費及び一般管理費は前年同期を上回りました。

当社は、これまで以上に中国・四国・兵庫エリアの地域に密着し、お客さまの豊かなくらしづくりに貢献してまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社フジ
代表取締役社長

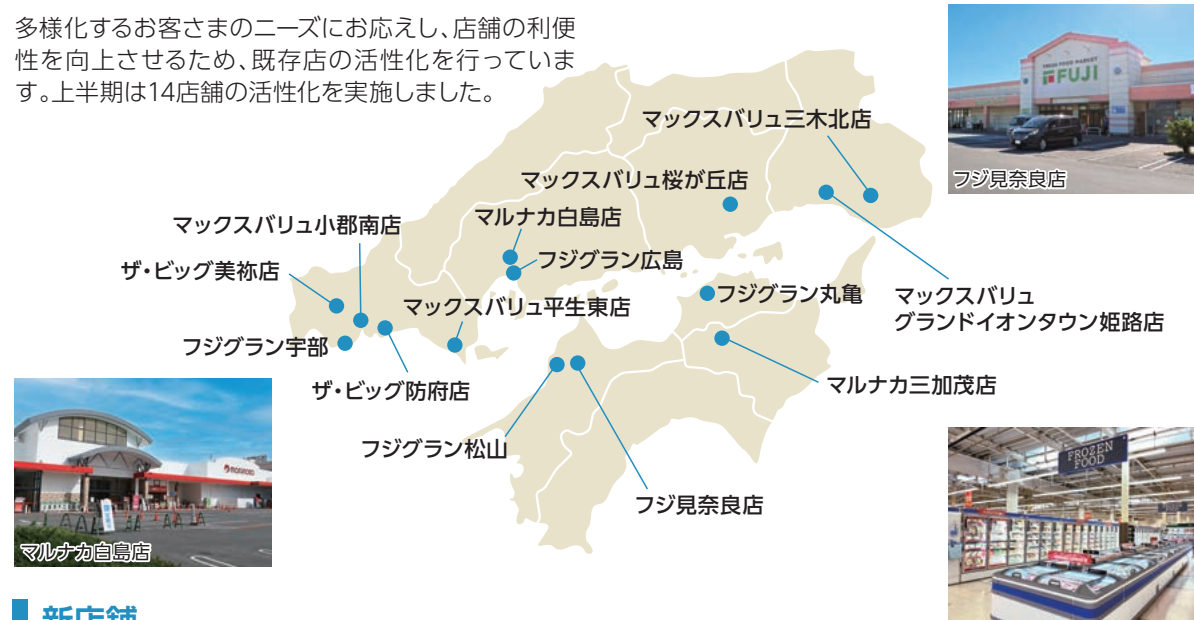
山口 普



活性化店舗・新店舗情報

活性化店舗一覧

多様化するお客さまのニーズにお応えし、店舗の利便性を向上させるため、既存店の活性化を行っています。上半期は14店舗の活性化を実施しました。



新店舗

マックスバリュ塩冶店 3/1 (金)

所在地/島根県出雲市塩冶町2668番地

新生フジとして初出店となるマックスバリュ塩冶店を、出雲駅近隣の住宅エリアにオープンしました。毎日行きたくなるお店を目指し、鮮度の高い地元の食材を使用したお魚惣菜や、地場産直の野菜・果物など、地元の商品を豊富に取り揃えました。



マックスバリュイオンタウン防府店 4/27 (土)

所在地/山口県防府市鐘紡町7番1号

ザ・ビッグイオンタウン防府東店が、スーパーマーケットへと業態転換し、マックスバリュイオンタウン防府店として生まれ変わりました。「お客さまに食の豊かさ、楽しさをお届けする」をコンセプトに、季節感あふれる売場や、イベント・催事を通じて、お客さまに食の「楽しさ」をお届けいたします。



TOPICS

自家消費型太陽光パネルの設置を拡大

ESG経営を推進し、2030年度までにCO₂排出量を2010年度比で50%以上削減する目標を掲げ、節電や再生可能エネルギーの活用を推進しています。その一環として、太陽光パネルの導入を拡大し、上半期に13店舗での設置を完了しました。下半期には、さらに5店舗を追加し、合計18店舗で設置を予定しています。2024年度末には、これまでの導入店舗を含め、79店舗での設置を目指します。



フジ×愛媛大学 人財育成プログラム連携事業実施

7/9 (火)

愛媛大学社会共創学部と協働し、選抜された学生を対象とした人財育成プログラムを創設しました。教育や研究、社会・国際連携を通じて地域社会を担い、地域に貢献できる人材を育成することを目的とする愛媛大学基金に、フジが寄附金を贈呈し、学科を横断した実践的なプログラムの構築を支援します。



4/25 (木)

中四国物流研究会発足

物流業界では「2024年問題」や脱炭素などの課題解決に向け、企業間の連携が重要となっています。地域の小売業を支える持続可能な物流体制を構築していくために、4月25日(木)に中国・四国に拠点を持つ小売業12社とともに、企業の壁を越えて協業する中四国物流研究会を発足しました。各企業が個別に解決することが難しい物流課題に対して連携し、解決策を模索しています。配送効率の改善や温室効果ガスの削減などを通じて、地域全体の物流課題の解決を目指します。



株主さまアンケート結果のご報告

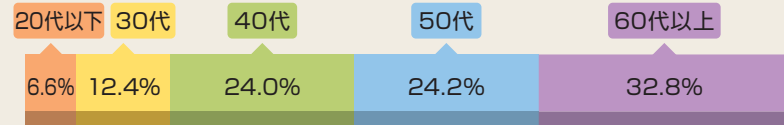
株主の皆さまにご回答いただきましたアンケートの集計結果をご報告いたします。

当社は、株主の皆さまが当社の経営や情報開示・IR活動に対して、どのようなことを期待されているのかを知るため、60,113名(2024年2月29日現在)の株主の皆さまを対象に、2024年4月～5月にアンケート調査を実施いたしました。

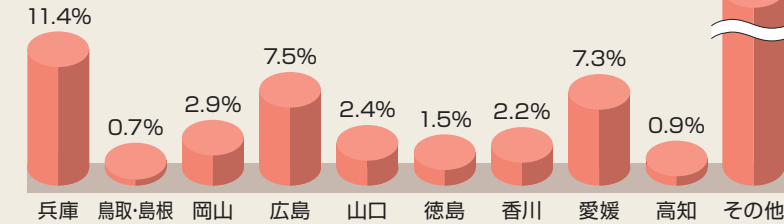
本調査では、全株主数の43.4%に当たる26,105名の方々からご回答をいただくことができました(前年度比5.3%増)。株主の皆さまには本アンケートにご協力をいただきましたことをこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

回答数 26,105名(男性59.1%、女性38.8%、無回答2.1%)

年齢別

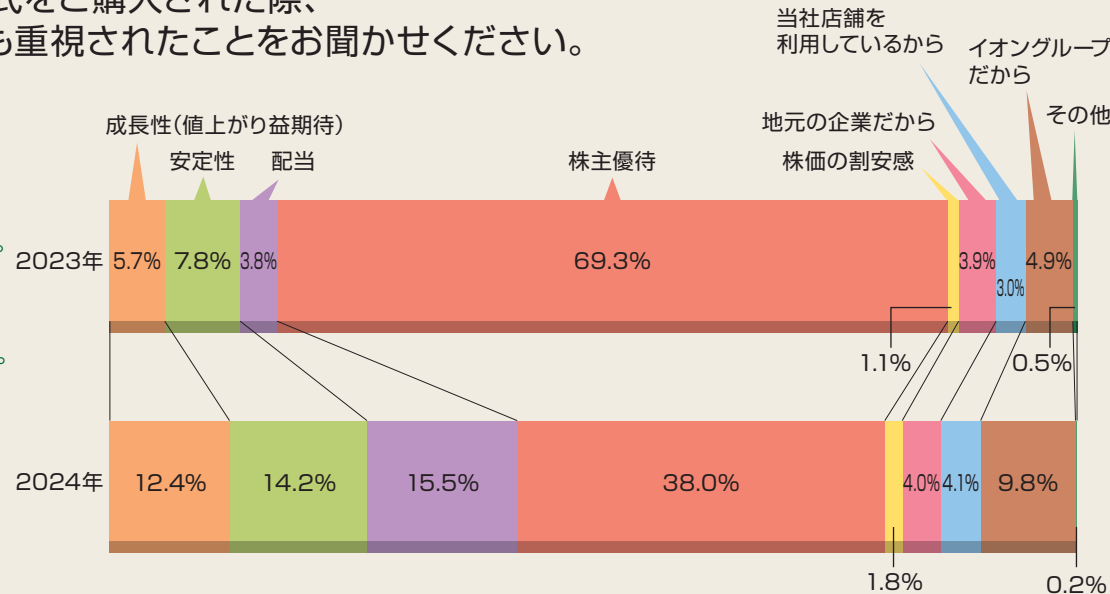


県別

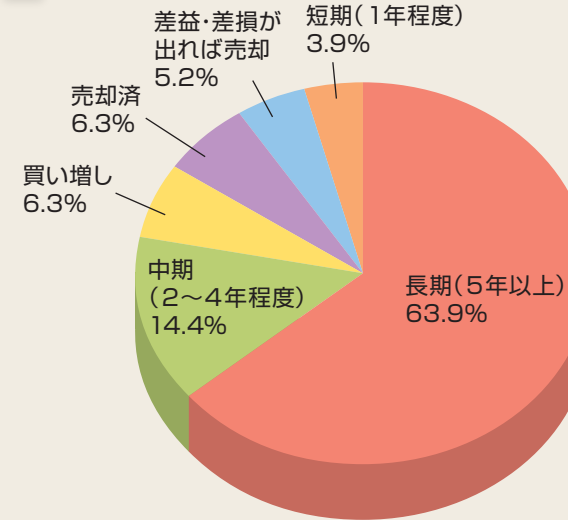


Q1 当社株式をご購入された際、もっとも重視されたことをお聞かせください。

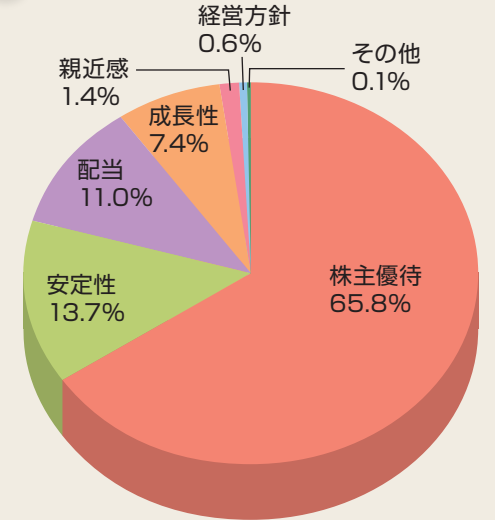
過半数の株主さまが「株主優待」「配当」を重視し、当社の株式を購入・取得されています。また、前年度より「成長性」「安定性」を重視する方も増えました。



Q2 保有方針



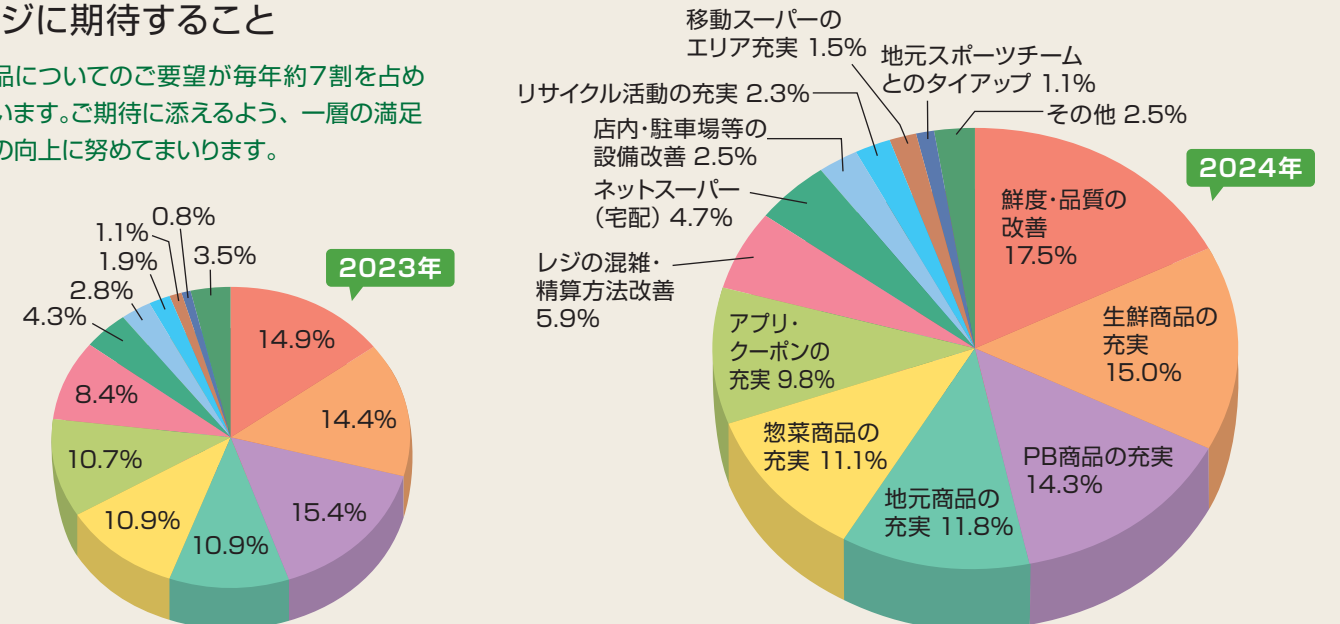
Q3 保有で重視すること



Q4

フジに期待すること

商品についてのご要望が毎年約7割を占めています。ご期待に添えるよう、一層の満足度の向上に努めてまいります。



連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前中間期 (2023年8月31日)	前期 (2024年2月29日)	当中間期 (2024年8月31日)
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	34,624	37,182	43,595
受取手形及び売掛金	11,430	10,110	15,940
営業貸付金	409	411	396
商品	32,400	32,995	32,591
その他	12,380	11,549	13,897
貸倒引当金	△130	△115	△123
流動資産合計	91,115	92,135	106,297
固定資産			
有形固定資産			
建物(純額)	102,112	98,450	97,706
土地	114,459	114,223	116,633
その他(純額)	32,657	31,281	31,568
有形固定資産合計	249,229	243,955	245,909
無形固定資産	27,006	26,262	25,598
投資その他の資産			
投資有価証券	22,809	24,108	25,218
差入保証金	17,967	17,832	17,763
建設協力金	2,813	2,565	2,355
その他	18,685	21,120	19,383
貸倒引当金	△192	△278	△277
投資その他の資産合計	62,084	65,348	64,443
固定資産合計	338,319	335,566	335,950
資産合計	429,435	427,702	442,248

(単位:百万円)

科目	前中間期 (2023年8月31日)	前期 (2024年2月29日)	当中間期 (2024年8月31日)
(負債の部)			
流動負債			
支払手形及び買掛金	64,433	57,266	79,020
短期借入金	24,722	29,845	22,803
未払法人税等	1,797	1,669	1,373
その他	44,007	43,304	48,820
流動負債合計	134,959	132,084	152,016
固定負債			
長期借入金	46,990	45,334	38,867
長期預り保証金	13,620	13,329	13,052
その他	21,250	20,858	20,453
固定負債合計	81,860	79,521	72,372
負債合計	216,819	211,605	224,388
(純資産の部)			
株主資本			
資本金	22,000	22,000	22,000
資本剰余金	142,025	142,025	142,025
利益剰余金	44,121	46,201	47,424
自己株式	△377	△418	△428
株主資本合計	207,769	209,808	211,021
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	3,914	4,553	5,191
退職給付に係る調整累計額	681	1,474	1,370
その他の包括利益累計額合計	4,595	6,028	6,562
非支配株主持分	250	260	276
純資産合計	212,616	216,097	217,860
負債純資産合計	429,435	427,702	442,248

連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前中間期 (2023年3月1日～ 2023年8月31日)	当中間期 (2024年3月1日～ 2024年8月31日)
売上高	383,626	386,308
売上原価	281,795	278,411
売上総利益	101,841	107,896
営業収入	15,206	15,390
営業総利益	117,048	123,286
販売費及び一般管理費	110,995	118,117
営業利益	6,053	5,168
営業外収益	1,284	1,256
営業外費用	373	349
経常利益	6,963	6,076
特別利益	209	60
特別損失	847	1,213
税金等調整前中間純利益	6,325	4,922
法人税等	2,266	2,379
中間純利益	4,058	2,542
非支配株主に帰属する中間純利益	4	17
親会社株主に帰属する中間純利益	4,053	2,525

フジホームページで、
IR情報、トップメッセージ
を公開しています。



<https://www.the-fuji.com/company/>

Point

営業収益

営業収益は過去最高を更新

●既存事業の改革
多様化するお客さまニーズへの対応、店舗の利便性
向上に向けたスクラップ&ビルドと既存店の活性化
等の取組みにより、営業収益は過去最高を更新。

Point

営業利益・経常利益

営業総利益は過去最高を更新した 一方で、合併費用等コスト増加により 減益

●営業総利益
営業収益とともに過去最高を更新。
●販管費
人材への投資としての大幅な賃上げや、既存店刷新
への積極的な投資、本社移転や統合販促等によりコ
ストが増加。

株式の状況

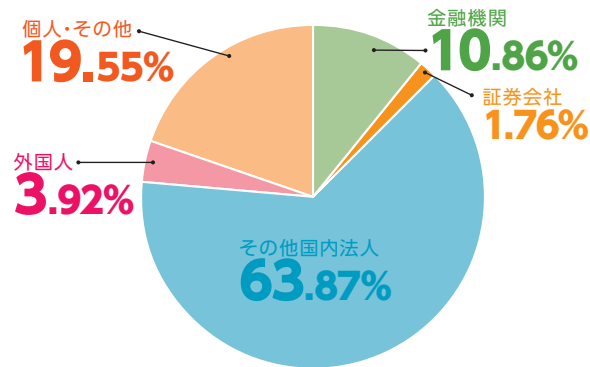
■ 株式発行状況

発行可能株式総数 …………… 130,000,000株
 発行済株式の総数 …………… 86,856,954株
 株主数 …………… 51,510名

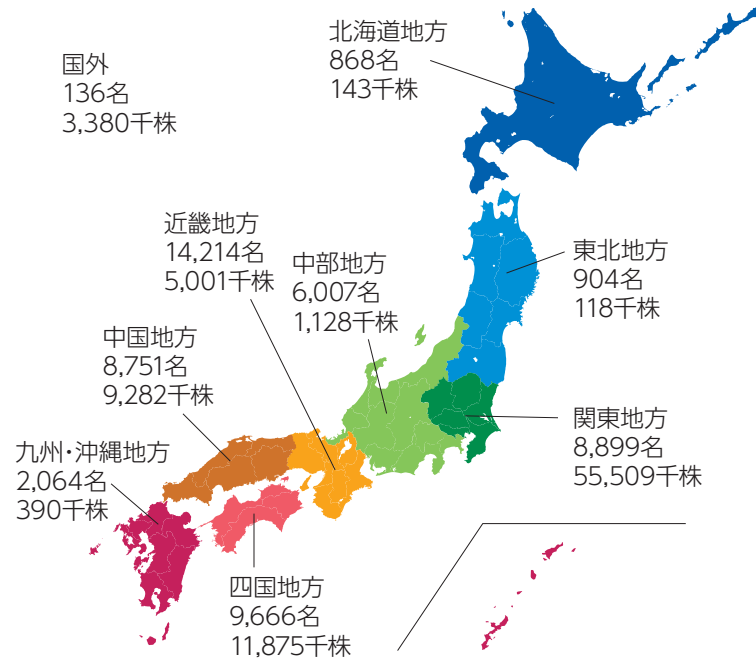
■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イオン(株)	43,992	50.6
(株)アステイ	3,754	4.3
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	2,899	3.3
フジ共栄会	2,494	2.8
フジ親栄会	1,687	1.9
SMB C日興証券(株)	1,243	1.4
フジ社員持株会	1,239	1.4
(株)伊予銀行	1,166	1.3
(株)広島銀行	1,165	1.3
(株)愛媛銀行	1,165	1.3

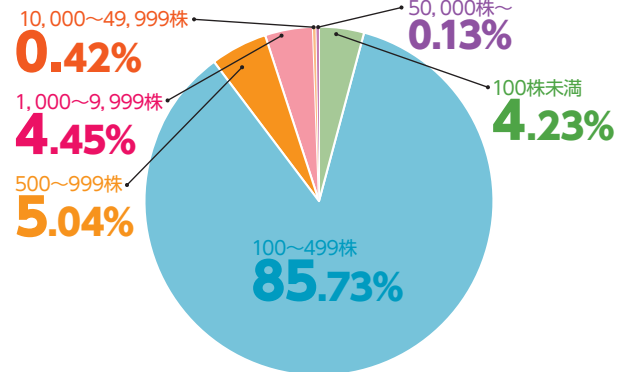
■ 株式分布状況 / 株式数



■ エリア別株主分布



■ 株式分布状況 / 株主数



株主優待制度について

当社の株主優待制度は、株主の皆さまへの日頃のご支援に対する感謝とともに、株主優待制度を通じて当社へのご理解を一層深めていただくべく、株主さまご優待券(引当き券)を中心に株主さまのご要望に沿った3つのコースをご用意しております。

ご優待制度の内容 ご所有株式数	Aコース 株主さまご優待券	Bコース フジネット ショップポイント	Cコース 地域特産品
100株~299株	100円券×60枚 (6,000円分)		
300株~399株	100円券×80枚 (8,000円分)		
400株~499株	100円券×100枚 (10,000円分)	3,000円分	3,000円相当
500株~999株	100円券×120枚 (12,000円分)		
1,000株~1,999株	100円券×200枚 (20,000円分)		
2,000株~2,999株	100円券×400枚 (40,000円分)		
3,000株~3,999株	100円券×600枚 (60,000円分)	10,000円分	10,000円相当
4,000株~4,999株	100円券×800枚 (80,000円分)		
5,000株~	100円券×1,000枚 (100,000円分)		

株主さまご優待券のご利用方法
 1回のご精算が1,000円(税込)以上の場合につき、1,000円毎に1枚ご利用できます。

贈呈時期
 毎年6月下旬(有効期限:翌年6月30日まで)

■ 長期保有株主優待制度

8月末日に1年以上、当社株式を300株以上保有していただいている株主さまを対象として、新米を贈呈しております。

対象株主
 300株以上を継続して1年以上保有されている株主さま
 (毎年8月末日の基準日時点において、継続して1年以上、同一名義で保有されている株主さま)



贈呈商品
 300株以上保有・・・新米2kg
 500株以上保有・・・新米5kg

贈呈時期
 毎年11月下旬~12月上旬

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月
基準日 定時株主総会 毎年2月末日
期末配当 毎年2月末日
中間配当 毎年8月末日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

単元株式数 100株

公告方法 電子公告により下記ホームページに掲載します。
<https://www.the-fuji.com>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先及び照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031 (通話料無料)
受付時間 9:00~17:00 (土・日・休日を除く)

【住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について】

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座に開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社(上記照会先)にお申し出ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【未払配当金の支払について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお申し出ください。

お知らせ

個人株主さま向け会社説明会の開催について

当社では、株主の皆さまに経営方針や業績状況をご説明し、皆さまのご意見を頂戴する機会として、個人株主さま向け会社説明会を実施しております。昨年度は、姫路市、岡山市、広島市、松山市、高松市の5カ所にて開催し、貴重なご意見をいただきました。



昨年度の様子



本年度も、より多くの株主の皆さまにご参加いただきたく存じます。ご希望の株主さまは、同封のご案内状をご覧ください。期日までにお申し込みください。ご当選の方には、参加がきの発送をもってご案内とさせていただきます。(11月中旬予定)

開催日時	会場
11月22日(金) 15時~16時	【愛媛県松山市】フジ松山事務所 第3ビル
11月29日(金) 13時~14時	【岡山県岡山市】TKPガーデンシティ岡山
12月1日(日) 13時~14時	【愛媛県松山市】フジ松山事務所 第3ビル
12月11日(水) 13時~14時	【香川県高松市】ホテルクレメント高松
12月15日(日) 13時~14時	【兵庫県姫路市】ホテルモントレ姫路
12月18日(水) 13時~14時	【広島県広島市】TKPガーデンシティ広島駅前大橋

FUJI **MaxValu** **マルナカ** **BIG**

株式会社フジ 〒732-0814 広島県広島市南区段原南一丁目3番52号
TEL 082-535-8500 (代表)

UD FONT
文字が識別しやすく読みやすいユニバーサル書体を使用しています。



SPA-230012-J

CARBON EMISSION
3,397,448 kg-CO₂ ▶ 0
この印刷物は、CO₂排出量を算定しカーボンオフセットすることで、CO₂排出量を実質ゼロにしています。
CNP-128443 (60,030copies)